

平成21年度 第40回千葉県中学校バスケットボール新人大会 総評

千葉県小中学校体育連盟主催の第40回千葉県中学校バスケットボール新人体育大会は11月8日(日)、14日(土)、15日(日)の3日間、船橋市総合体育館と船橋市運動公園体育館で行われた。

男子のベスト4には、シードから順調に勝ち上がってきた船橋中(船橋)、市川一中(市川・浦安)と8シードからの稲毛中(千葉)、そしてノーシードからの豊四季中(柏)が出そろい、準決勝は船橋中对豊四季中と、市川一中対稲毛中の対戦カードとなった。両カードとも、新人戦らしくひたむきにボールを追いかける好ゲームとなったが、決勝戦には2年連続の優勝を狙う船橋中と22年ぶりのファイナルとなる市川一中が駒を進めた。

決勝戦は両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。船橋中は連続でオフンスリバウンドを拾い得点。その後もスポットパスからの速攻やドライブで加点する。対する市川一中は前半に5本の3ポイントシュートを決め、必死にくりいつく。後半、市川一中はインサイドへの飛び込みやオフンスリバウンドからのシュートなどで4点差まで追い上げる。ここで船橋中はタイムアウトを取り流れを変え、再びリードを広げる。最後まで、互いに一步も引かず速いリズムで点数を取り合う激しいゲーム展開となったが、両チームともに相手のドライブに対してもしっかりとコースを押さえるディフェンスし、決勝戦にふさわしく、引き締まったゲームとなった。最後は運動量でまさる船橋中が逃げ切り、2年連続となる優勝を飾った。

一方女子の準決勝の組み合わせは昭和学院中(市川・浦安)対習志野一中(習志野)と、印西中(印旛)対東国分中(市川・浦安)の対戦カードとなった。シード校が3校順当に勝ち上がる中、市川・浦安支部2位の東国分中がベスト4に入り、今年度も支部のレベルの高さを見せつけた。

そして決勝には、県新人戦3連覇を狙う昭和学院中と、新人戦初のベスト4で決勝進出を決めた印西中が進出した。試合は両チームともオールコートマンツーマンでスタート。昭和学院中はドライブインや高さを生かしたインサイドプレーで確実に得点を重ねる。一方印西中は3ポイントシュートで反撃する。インサイドへのドライブも狙うが昭和学院中の高さに苦しみ、リズムが作れない。後半、印西中は激しいディフェンスから流れを変えようとするが、昭和学院中はメンバーを交代しながらも堅実に試合を運び、見事に3連覇を果たした。また、敗れはしたものの最後まで諦めずにボールを追う印西中の頑張りにも多くの拍手が送られた。

今大会では男女とも1点差や延長戦にもつれ込むゲームが多く、実力が伯仲していた。また、インフルエンザの影響からか練習があまりできずに大会に臨んだチームもある。今後の練習で各チームがどれだけ成長するかで、春の選手権大会の結果が今大会のものと大きく変わる可能性を秘めている。

最後になりましたが、TO指導や会場準備など、開催地区である船橋支部の役員や関係者のご尽力により大会を無事終えることができました。心よりご協力に対し感謝いたします。

文責 県中体連バスケットボール専門部
報道部 大橋 哲治(平川中)